令和３年度のスタートにあたって

校長　　髙田　晶子

春の訪れが例年より早く感じられ、新年度のスタートを待ちわびておりました。四月から生徒たちの声が学校にこだましていることに、心から喜びでいっぱいです。

元郷中学校２年目となりました、髙田晶子です。令和３年度は「できることから始めよう」の気持ちで、より一層推進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨年度末に「元中生の考える『◎◎だったら　〇〇すればいい』」という、アイデアを募集しました。応募対象は、全生徒、全教職員としたところ、１９枚の応募があり、コロナ禍の生活や日常生活の中でのポジティブな考え方を伝えてもらいました。

生徒作品では､「直接会えないのなら　画面越しで会えばいい」「はずかしくなったら　穴に入ればいい」「絵が描けないなら　ひたすら練習すればいい」など、絵も一生懸命描いてくれた作品が心を和ませてくれました。また、教職員から、「つまづいたら　立ち上がればいい」「悲しい顔をしている人がいたら　笑いを分けてあげればいい」「失敗したら　反省し、改善すればいい」など、日頃当たり前と思っているようなことも、改めて言葉や絵を通して再確認でき、元気をもらえたように思いました。今年度もアイデアをたくさんいただきながら、進めていこうと思います。

令和３年度の学校教育目標等は、以下の通りです。教職員がチームワークよく、教育活動に全力で取り組んでまいります。保護者、地域の皆様の変わらぬご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

＜校訓＞

責任　　健康　　感謝　　協力　　勉学　　真剣

＜学校教育目標＞

自主的に取り組む生徒　　共に学び、共に伸びる生徒【知】
思いやりのある生徒　　【徳】
健康でたくましい生徒　　【体】

＜目指す学校像＞

仲間とともに心を磨き　考える力を育む　夢のある学校

＊夢のある学校・・・夢や目標を持ち、その実現に向け生徒一人一人が輝きはばたく学校に

＜目指す生徒像＞

笑顔と規律のある　潤いに満ちた元中生

＊笑顔でけじめがあり、心豊かな生徒の姿に